

## TOKUYA TIMES

とくや  
タイムズ自民党  
豊橋市議団  
個人版

New

<http://itotokuya.net/>

伊藤 とくや

Winter, 2019-20, vol.51

「令和 2 年度の予算編成の考え方について」  
 「東京 2020 大会を活かした、豊橋のまちづくりについて」  
 「学ぶものにとって、通わせるものにとって、働くものにとって、  
 魅力的な教育づくりについて」

## 第 51 号 ごあいさつ

50 号は 12 月議会一般質問の 3 つのテーマである

『令和 2 年度の予算編成の考え方について』

『東京 2020 オリンピック・パラリンピックを活かした、  
豊橋のまちづくりについて』

『本市における、学ぶものにとって、通わせるものにとって、  
働くものにとって、魅力的な教育づくりについて』です。

人口減少時代においても、持続し続ける豊橋を念頭に、  
議論致しました。

2060 年における、豊橋市の人口 33 万人を目標に！  
令和 3 年より、総合的な行政の運営の基本を示す「第 6  
次豊橋市総合計画」がスタートします。

選ばれるまち、豊橋を目指して！



## 令和 2 年度の予算編成の考え方について

## 質問の意図

■わが国の経済は、穏やかではあるものの長期にわたる景気回復基調でしたが、ここへ来て、消費税、世界経済、災害などを起因とする不安材料が見受けられます。

■一つは消費税率引き上げ後の景気の冷え込みです。

■次に世界経済の前に立ちほだかる、様々な不確実性です。

■そして、保護主義の広がりです。Brexit の行方、欧州政治問題、米国大統領選挙、中国の構造調整など、不確実性を高める問題が山積しています。

■更に各地で相次いだ地震や、豪雨災害など、罹災者への復旧や生活再建は喫緊の課題です。

## Q1 令和 2 年度の予算編成の考え方について

● 国の「経済財政運営と改革の基本方針 2019」を踏まえた、予算編成の考え方について

● 新年度の財政見通しについて

## Q2 予算編成で掲げた 3 つの重点課題「人口減少への対応」「未来への投資」「行政の効率化」への対応について

Q3 国は新年度予算を、令和 2 年 1、2、3 月を含めた 15 か月予算（令和 2 年 1 月から令和 3 年 3 月末日）を示す中で、本市はどのように様に予算編成に取り組んでいくのか、国の補正予算に対する本市の取り組みについて

## Q2 豊橋市の考え

●本市を取り巻く状況は、既に長期的な人口減少局面にあり、地域経済の縮小や住民サービスの低下を招く恐れがあります。その対策として、「人口減少への対応」「未来への投資」「行政の効率化」を重点化事項とした予算編成に取り組みます。

●定住・交流を促進させ、にぎわいを創出し、雇用の拡大などを図り、人口減少への対応を進めます。

●高い税収効果が見込まれる新産業の創出、企業誘致のための積極的な投資、本市の将来を担う子どもたちの教育環境整備を進め、子育て支援の充実を図ります。

●RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の推進や IoT・AI を活用して行政の効率化を進めるだけでなく、働き方そのものを見直す時期であり、将来を見据えた新たな行政課題へ、重点的に配分します。

●新年度も引き続き厳しい財政環境が見込まれ、事業の廃止も含め、見直しによる歳出削減、公共施設や社会インフラ等の老朽化への対応は、規模等の最適化を検討、更新・長寿命化等に要する経費の抑制に努めます。事業の選択と重点化に加え、歳入も、自主財源だけでなく、国県支出金などの依存財源についても積極的な獲得に努め、財政調整基金からの繰り入れを最小限したいと考えます。

●国は、消費増税の影響や貿易摩擦の激化など通商問題の動向等により、経済の先行きに不透明感が増すと見て、経済対策と防災・減災・国土強靱化対策を柱とする補正予算を検討、10 兆円規模で、2019 年度補正予算と 2020 年度の当初予算と合わせた 15 か月予算とも言われており、大型の補正予算となるものと認識しています。

●今回の国の補正予算は、市の喫緊の課題である項目への補助の追加や拡大等が期待できるとともに、地方債においては、高い充当率や普通交付税算定上、有利となるなど、財源確保の点からも一定の効果が見込まれます。

●国の補正メニューを把握し、予算要望をしていくとともに、当初予算へ計上した後、国の内示を受けたものにつきまして、**3 月市議会での増額補正**と合わせ、当初予算の減額補正をお願いします。

●こうした国の動きに迅速に連動して対応し、対象となる事業の進捗とともに、**切れ目のない機動的な経済対策が実行できるもの**と認識しています。

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック を活かした、豊橋のまちづくり

### 質問の意図

■東京 2020 大会という大きなチャンスの到来に際し、今までの成果を今後どの様に豊橋のまちづくりに活かしていくのか？

■オリンピックに因むとすればチャンスの神様はギリシア神話の「カイロス」、頭髪は前髪しかないことが特徴です。

■その容貌から「好機はすぐに捉えなければ、後から捉えることは出来ない」という意味に使われています。



### Q1 成果と課題を踏まえた、東京 2020 大会のレガシーについて

●誰もがスポーツを「する・観る・支える」環境を整えていく必要がある。パブリックビューイングなどで本市ゆかりの選手を応援し、スポーツによる地域コミュニティやアイデンティティの形成につなげていきたい。来年のパラリンピック活躍を契機に、スポーツを通じた障害に対する理解促進やユニバーサルデザインの考え方の浸透、心のバリアフリーに繋がる取り組みを進めることが、共生社会の実現に寄与していくレガシーと考えています。

### Q2 成果と課題を踏まえた今後の方向性について

●東京 2020 大会は、本市の様々な魅力を国内外に向け発信できる絶好のタイミングです。  
●ラグビーワールドカップの表彰式で市内「築地町」有志の方が放揚した「手筒花火」は、はとでもインパクトがあり、大きなPRとなりました。  
●大会と同じ年の春、連続テレビ小説「エール」の放送が始まることも大きな魅力、応援を意味する「エール」を活用し、様々な方に様々な場面で「エールを送るまち豊橋」として、イメージ展開する方法も有効です。  
●豊橋を選んでいただき、交流人口、定住人口の増大に繋げていきたい。

### Q3 成果と課題を活かしての、今後の豊橋のまちづくりについて

●東京 2020 大会の基本コンセプトは、「すべての人が自己ベストを目指し」「一人ひとりが互いを認め合い」「そして、未来につなげよう」です。  
●私たちのまちづくりに通ずる東京 2020 大会を一過性のものにしてしまうのではなく、現在、策定作業を進めている理想のまちづくりをより加速させるきっかけとして、スポーツ分野のみならず、芸術文化の振興、国際化・多文化共生の推進など、様々な分野のまちづくりに、その理念を生かしていきたい。  
●多様性を尊重し、異なる価値観や能力を生かしながら、みんなで一緒に考え、助け合い、気持ちを一つにして汗を流し合う。みんなで力を合わせ、持続可能なまちづくりを進めたい。

**おもい** 気に入りました。

**SDGs の目標を凌駕する持続可能な理想のまちづくり!**に、私も大いに励みたいと思います。

## 学ぶものにとって、通わせるものにとって、 働くものにとって、魅力的な教育づくりとは

### 質問の意図

■今の子どもたちの未来は、新たな技術の進展はじめ変化が極めて激しい時代になり、子どもたちには次の時代を切り拓くために必要な力が求められます。  
■その力を育むため、これまで以上に、学校教育に力を注ぐ必要があります。  
■一方で、教員は魅力のある職業ではなくなった、とも言われています。  
●メディアによる「過労死ライン」を超える平均通勤勤務時間、学習指導要領の改訂に伴う、英語、プログラミングの必修化など、教員の負担増大などです。  
■「人材確保法」(1974 年) が、有名無実化するなかで、今一度考えねばならないのは、「教育は国の礎である」ことから、私達にできる本市における学ぶ者にとって、通わせる者にとって、働く者にとって、魅力的な教育づくりです。

### Q1 教員を取り巻く環境の変化の認識と対応について

#### ア 教員採用試験の倍率低下に対する本市の認識について

●本県の今年度の教員採用試験の倍率は、小学校が 3.5 倍、中学校が 6.1 倍です。この背景には、教員の大量退職に伴う採用者数の増加に加え、多忙な教員の現状が、社会的に大きく取り上げられたことと考えています。  
●教員採用試験の倍率の低下は、教育の質を担保する観点から大きな問題であると危惧しています。

#### イ 本市における働き方改革についての取り組みについて

●教育委員会は、教員が心身ともに健康で、本来の業務である授業や生活指導で子どもと向き合える様に、校務支援システムやメッセージ機能付き電話を導入し、令和 2 年度を最後に小学校の運動部活動の廃止を決定しました。  
●各学校に於いても、業務改善に取り組み、各種会議運営の効率化や精選、定時退庁日を設定し、教員のマネジメント意識の高揚に努めています。

**伊藤とくやの視点** 学校の運動部活動の廃止を決定は、繊細な対応、丁寧な説明と議論が必要であることを指摘させていただきます。

◆また部活の代替となる、「場づくり」が必要です。授業後に集団活動を通して、集団規律、望ましい人間関係、自主的・実践的な態度、健全な生活態度の育成を図ることの出来る、学び、競う、安全な「場づくり」です。

### Q2 価値観が多様化する現代社会における本市の教育のあり方について

#### 質問の意図

◆価値観が更に多様化することが確実視されるこれからの教育において、学ぶものにとっては質の高い教育が、通わせるものにとって信頼できる教育が、働くものにとっては魅力的な教育環境が求められていると思う。地域が持続的に発展するための、本市の教育のあり方について教育長の所見を伺う。

#### Q2 教育長の考え

●子どもたちにとっての最大の教育環境は「人」です。  
●子どもたちが健やかに成長し続けるためには、学校現場では教師が、社会においては、家庭や地域の人々の存在が欠かせません。  
●こうした人々とともに、「地域の子どもは地域で育てる」風土を構築していくことで、多様な文化や価値観をもつ人々が共生するこの豊橋で、生きる力を磨き、深めていくことができると考えています。  
●このような教育環境の中で育まれた子どもたちは、身につけた力を生かしながら本市の発展に寄与しくと考えています。



**あとがき** 『タブレットに注目』 2020 年の教育改革に向けて、小中学校でタブレット授業の導入が広がっています。

- タブレット授業の目的は「変化の激しい社会の中で活躍出来る為の資質と能力を子どもたちに身につけさせる」です。
- 教師用タブレットが更に重要では。子どもがタブレットを授業で使う前に、まずは教師自身が使えなければなりません。
- タブレットと電子黒板の授業は、教員の授業準備の負担を軽減できます。
- 教室内を歩き回らなくても生徒たちの学習状況を把握できます。
- 生徒タブレットに書き込まれた解答などの情報は教員用のタブレットに一覧表示できます。
- 宿題をやってきたかどうかは、教員用タブレット端末からいつでも確認できます。
- 驚いたのは、体育の授業を行うときに、教員がタブレット端末を使い画像を取り込み、離れた場所の専門のコーチへ送り、専門のコーチはアドバイスを送り返す、そのアドバイスに基づき、教員が子どもたちへ授業を行い、子どもたちが挑戦する姿です。新しい時代を感じました。また教員からは負担軽減にも繋がると、コメントがありました。

私は近い将来、必ず予算化されると思います。準備を進めていただきたい。

### 市政報告会のお知らせ

日付 令和 2 年 3 月 12 日(木)  
時間 19 時より  
会場 カリオンビルにて  
テーマ 令和 2 年の豊橋の行方!  
お気軽にお越しください!

### 発行

伊藤とくや事務所  
豊橋市松葉町 3-70  
FAX: 0532-53-4557  
☎: 090-3855-9696